

小柳司氣太 （きやうしけい） 支那哲學者、文學博士。明治二十二年二月十一日、越後國生乳、昭和十五年七月十八日歿（一八七〇—一九四〇）。舊姓熊倉。號柳々子、讀我、讀我山人。京都帝國大學文科大學漢學科選科卒。學習院、國學院大學、慶應義塾大學各教授を經て、昭和十五年大東文化學院學長就任。

著書 『新論語』（合著・成功雜誌社編、明治四十二年六月十日成功雜誌社）、『道教概論』（大正十一年十一月二十日世界文庫刊行會「世界文庫」）、『老莊研究の現代的意義』（昭和十四年八月十日啓明會事務所「講演集」）、『蓮錦錄』（昭和十五年七月六日私家版）、『東洋思想の研究』（昭和十七年十月二十五日森北書店）、『續東洋思想の研究』（昭和十八年十一月五日森北書店）等。

